

恵光通信

令和七年
株式会社

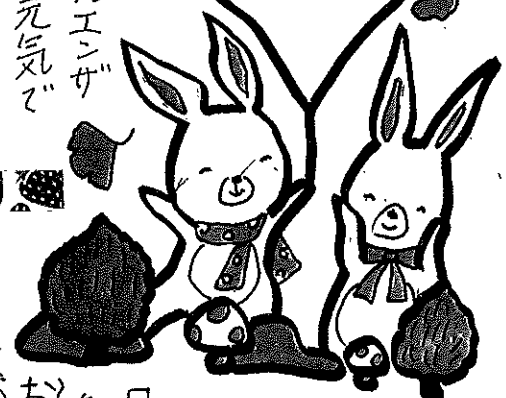
寒くなつてまいりましたね。インフルエンザもはやってるようです。皆様、お元気で
お過ごしでしょうか。

今年も残り二か月をきりましたね。今年の春、いちこのミフォンケキのおいしさにはま
ってしまった妙光。ミフォンケキを自分でも
作ってみたい、という衝動に駆られてしま
いました。といっても、お菓子作りをほとんど
したことがありません。道具も持っていない
そんな状況です。

そんな状況で、五月がきつてしまひ、今
年も山梨県にある日蓮宗総本山、身延山へ
七月に倉敷へ戻ってきましたが、不注意で
腰椎骨折。手術入院。他の病気の疑いも
見つかひ、お寺が一番忙しい八月は治療に専
念。酷暑の中、住職と檀信徒様、実家の
家族、多くの人に迷惑をおかけしてしま
いました。

過ぎやすい季節になり、身体の痛みも
知らず動きやすくなり、「そうだミフォンケキ
作ろう」と道具をそろえ初挑戦。ハンドミ
キサーと飛び散る材料に悪戦苦闘しながら
今年にやりたいことのひとつをやり遂げるこ
とが出来ました。

入院、手術、ミフォンケキ作りなど人生初の経
験ばかりの一年でしたが、これからの人生に
とっての勉強になりました。〈妙光〉



お年玉
プレゼント
クイズ

日蓮聖人や日蓮宗に関係する
あるクイズです。ハカキに答えと
お名前、住所を書いて正福寺
までお送り下さい。
ささやかですが、プレゼントをお送りいたし
ます。

〒700-0032
送先 倉敷市藤戸町天城五六の正福寺
お年玉、プレゼント係 まで

締め切りは令和八年一月七日
。おハカキ一枚につき、プレゼントは「ゴとさせていた
たきます。

問1. 日蓮聖人が信仰のより所とした經典を
次の中から一つ選んで下さい

A. 妙法蓮華経 B. 大品般若経 C. 正法華経
問2. 一三二二年、日蓮聖人は安房国に誕生
しました。この安房国は現在の何県に
相当するでしょうか

A. 徳島県 B. 千葉県 C. 山梨県

問3. 安土桃山時代から江戸時代初期にかけて
活躍した美術工芸家、能書家で、熱烈
な法華信者として知られ、寛永三筆の
一人と称される人物は誰でしょうか。

A. 尾形光琳 B. 長谷川等伯 C. 本阿弥光悦
問4. 水戸(徳川)光圀が母親の追善菩提の
ために建立した日蓮宗寺院はどれで
しょうか。

A. 京都本願寺 B. 水戸長昌寺 C. 京都本能寺
問5. 妙法蓮華経は全部でいくつの章(品)から
できているでしょうか。

A. 8品 B. 10品 C. 16品 D. 28品

★答えは正福寺ホームページをご覧ください。

陽だまり法話

令和七年大相撲秋場所前、「大の里は、泰然自若の思いだけ

たいぜんじじやく

を胸に今場所での優勝を目指す」と新聞に記載されていました。大の里は、見事、横綱に昇進してから初めての優勝を果たしました。泰然自若とは、大相撲の横綱が精神的な強さを持って相撲に臨む姿をあらわし、物事に動じないさまを意味

します。みようほうれんげきようけじようゆほん 妙法蓮華經化城喻品第七では、数えきれないほ

どの者たちが、仏さまの教えを聞き、精進することで、一切の煩惱を除きつくし、自分の周囲にどんなことが起こっても、その事柄で心を乱されたり、騒いだりせず、全く影響を受け

なくなったことを「諸法しよほうにおいて受けずして」という言葉で

説かれています。この心持ちは、苦を根本から取り除いたことによつてなれます。そのあとは、もっと深い教えを求め精進していくのです。横綱という地位に昇りつめた大の里。それによつて彼を取り巻く環境や人も変化し、プレッシャーも肩に重くのしかかっていたことでしょう。そのような状況にあつて、泰然自若でいることはなかなか困難なことです。しかし、それを乗り越えることによつて、得られるものや進むべき先の道が見えてくるのだと感じました。「諸法しよほうにおいて受けずして」その心持で日々精進していきたいものです。

右の法話は みようほうれんげきようけじようゆほんだいしち 妙法蓮華經化城喻品第七 「第二説法時

せんまんどうじやしゆ 千万恒沙衆 おしよほうふじゆ 於諸法不受 やくしよくあらかん 亦得阿羅漢」

書き下し「第二説法の時 千万恒沙の衆 諸法において受けずして また阿羅漢を得（え）」からでした。

お寺でござ法事をされ

る方へのお知らせ

★準備・ご持参いただく物

○故人様のお位牌

○果物



○お菓子



（果物・お菓子は仏具に盛ります）

○お霊供膳（お弁当のように

にパック等に詰めてきてく

ださい。お膳容器（仏具）を

お貸しすることもできます）

きようか

○供花 一对（法事後、お墓にお持ちください）

○遺骨（当日納骨される方）

●ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお寺にご連絡下さい。

●お墓の事でお悩みの方のご相談もお受けいたしております。